

埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

年頭挨拶

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会
会長 神山 清志



新年明けましておめでとうございます。

会員・賛助会員の皆さまにおかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は当会に対し、多大なるご支援、ご協力を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は平成の天皇陛下が退位され、皇太子殿下が即位し、「令和」という新しい時代がスタートした年でした。また、9月に日本で開幕したラグビーワールドカップでは日本チームが「ONE TEAM」をスローガンに一致団結し、予選リーグ全勝で史上初の8強入りを果たし、国民に多くの感動を与えてくれた年でもありました。反面、台風15号、19号と大型の台風が日本列島を直撃し、千葉県をはじめ、埼玉県内でも大きな被害をうけ、自然災害について改めて考えさせられる一年でもありました。災害時には医師や看護師を中心としたDMATが知られていますが、私たち臨床検査技師も災害時に被災された方の支援ができる体制をつくる時が来ていると思います。実際に日臨技では災害に関連した研修会も企画され、お隣の山梨県では県と山梨県臨床検査技師会が災害発生時に臨床検査技師の派遣について協定が結ばれました。当会でも災害に関連した研修会の開催について検討していく所存です。

令和2年の当会の大きな活動といたしましては、日臨技 全国「検査と健康展」のメイン会場を県内で開催いたします。一般市民の方へ臨床検査技師のPRだけでなく定期健診の受診の必要性について働きかけていきたいと思っております。また、公益社団法人である当会がより公益な活動の一貫として、一部の研修会を除き、いままで会員の皆さまよりいただいております会場整理費について無料とする予定です。各研究班が会員の皆さまに有益な情報を提供できる研修会を企画しておりますので、会員の皆さまには多くの研修会にご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

さいごに、執行部一同、本年も会員、賛助会員、地域のための技師会であるよう努力してまいりますので、さらなるご指導、ご鞭撻を賜りたく存じます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

第47回埼玉県医学検査学会を終えて

第47回埼玉県医学検査学会
学会長 来住野 修

令和元年12月1日(日)大宮ソニックシティにて第47回埼玉県医学検査学会を開催致しました。前週は雨天が多く心配でしたが、当日は好天に恵まれホッとしました。寒い日でしたが一般市民を含め1,264名の皆様に参加していただき、盛会裏に終わることができました。心より御礼申し上げます。



市民公開講座 前田先生講演

本学会のテーマは、新年号、令和元年ということから新たに始まる元号の如く飛び立ち、もう一度基本に戻り、そこからより高みへ躍進しようではないかという意味で「飛翔」、そしてサブテーマは『進化』から『昇華』へとしました。

学会準備は昨年11月に私を含めた19名の実行委員が参集して始まりました。委員は27歳～62歳、平均39歳と若い年齢層の集まりで、経験者が少ないことから却って斬新な意見が多数出ました。既存の慣習に捉われずに新しいことにもチャレンジする方針で各企画が動き始めました。特に学生や技師の新人からベテランまでが参加しやすい企画はないだろうかという試行錯誤しました。また学会受付の混雑解消のため、思い切って受付を地下に移してみました。参加する皆様が例年同様4階に向かわないように、案内係も配置いたしました。迷わず受付できましたでしょうか？

学生・新人向けには各研究班のご協力のもと教育講演を多数開催しました。RCPCでは午前には技師会青年部のご協力のもと初心者向けの進化編、午後は埼玉医科大学病院総合診療内科准教授の小林威仁先生を中心にベテラン技師も参加しやすい内容の昇華編を企画し、各自のレベルに合わせて検査データの読み方を学べるようにしました。また本学会が実り多い一日となるように、午後の時間も有効に使い、同分野での一般演題と教育講演などの時間重複を極力少なくし、より多くの企画に参加可能にしたいと考えたり、初めてのスイーツセミナーを開催しました。日頃のお悩み相談として、会員向けには相談コーナーを開設し、学生には学生向けランチョンセミナー「今日でスッキリ！学生のためのお悩み相談室」を企画しました。

もう一つ初企画として、埼玉県診療放射線技師会とのコラボレーション企画『肝腫瘍における各モダリティのアプローチ法（肝癌を中心に）』を開催しました。超音波やMRI検査は臨床検査技師と診療放射線技師の業務範囲であり、検査データを提出する者として今後も尚一層お互いに手を取り合い検査業務に当たらなければならないと考えております。

学生演題では、私が養成校の教員であることもあり、今まで演題発表のなかった養成校も参加し



第48回 埼玉県医学検査学会実行委員

役職	氏名	勤務先
学会長	武関 雄二	自治医科大学附属さいたま医療センター
実行委員長	小野口 晃	自治医科大学附属さいたま医療センター
事務局長	猪浦 一人	埼玉県済生会栗橋病院
事務局	酒井 利育	自治医科大学附属さいたま医療センター
会計部長	石井 直美	越谷市立病院
会計	武藤 由里子	医療生協さいたま生活協同組合埼玉協同病院
学術部長	木暮 憲幸	戸田中央臨床検査研究所
学術	伊藤 恵子	東武医学技術専門学校
学術	小俣 諭子	獨協医科大学埼玉医療センター
学術	河口 善博	医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院
学術	豊田 将平	さいたま赤十字病院
学術	関根 有梨	さいたま市立病院
運営部長	小原 明	埼玉県済生会川口総合病院
運営	関根 美紀	自治医科大学附属さいたま医療センター
運営	坂井 伸二郎	川口市立医療センター
運営	今井 芙美	埼玉県立がんセンター
運営	安田 直樹	JCHO埼玉メディカルセンター
運営	脇谷 浩之	浦和医師会メディカルセンター
学会担当理事	菊池 裕子	医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院



全国「検査と健康展」開催される

令和元年11月9日(土)に浦和コルソにて全国「検査と健康展」が開催されました。開始から終了まで列が絶えることなく、多くの皆様に参加していただき大盛況となりました。

以下に今回、実務委員としてご参加いただいた方の感想文を掲載いたします。

東武医学技術専門学校 2学年

倉林 夢乃



左後列：與羽香里 右後列：北川恵里
左前列：根岸菜名 右前列：倉林夢乃

全国「検査と健康展」に学生として参加させていただきました。受付を中心にお手伝いし、骨密度検査も見学をさせていただきました。検査で来場された方々から「ありがとう」と言ってもらえたことがとても嬉しく、やりがいを感じました。検査を通して人と関わることの素晴らしさを学びました。

先輩技師の方々の、正確に素早く検査を行っている姿は自分の目指す将来像にとっても近く、憧れを抱きました。また、対応力と同じ目線になって優しく結果を伝えている姿から、丁寧な対応ができる臨床検査技師を目指したいと強く思いました。

検査に興味をお持ちの方が多く、今後もこのような地域に向けての活動が必要だと感じ、もっと広めたいと思いました。自分が将来臨床検査技師になった時にも積極的に参加し、検査を通じて様々な人を笑顔にしたいです。そのために、日々の実習や授業を大切に学校で頑張っていきたいです。

普段の授業では学ぶことのできない貴重な体験ができ、本当にありがとうございました。

医療法人社団埼玉巨樹の会 新久喜総合病院

遠藤 慧



全国「検査と健康展」に参加させていただき、血管年齢測定を担当いたしました。測定や結果説明をする際、専門的な知識のない方にどのように理解していただくかを考えながら行いました。他施設の先輩技師からコツや気を付けることを教えていただき、うまく伝えることが出来たと思います。今回学んだことは、日常業務でも大切なことなので、大変貴重な経験と勉強になりました。

またこのような機会があれば参加したいと思います。

埼玉医科大学病院

野村 和弘



今回、全国「検査と健康展」に参加させていただき、骨密度測定を主に担当いたしました。

開始から終了まで列が絶えることなく約520名と去年よりも多くの皆様に参加していただきました。

普段は生理機能検査室で業務をしており、患者さんと市民の方々と接遇の仕方が異なるため、検査終了時の声掛けなど注意しながら対応するように心掛けました。

市民の方々は食事や運動に気をつけている方が多く、検査結果の説明を親身に聞いてくださり健康に対する意識の高さを身に染みて感じました。

今回のイベントに参加して、臨床検査技師として検査を迅速にかつ正確に行うことは当然のことですが、コミュニケーションの重要性を改めて実感いたしました。

イベントを通して他の施設の方と交流できたことも有意義な経験となりました。また、このような機会があれば積極的に参加させていただきたいと思います。

野田病院

菊池 菜摘



今回、全国「検査と健康展」に参加させていただき、骨密度測定を担当しました。

普段、健診で業務することが多く、他病院の方々の検査の仕方や説明を間近で見させていただくことで、受診者への臨機応変な対応の仕方やコミュニケーションの取り方などを学ぶことができました。

また受診者の方から、「このイベントを通じて検査技師という仕事がある事を知ることができました。」というお話をお聞きすることができ、大変嬉しかったです。これからもより多くの方に臨床検査技師を知っていただくため、技師会活動に参加させていただき、広めていけたらと思います。



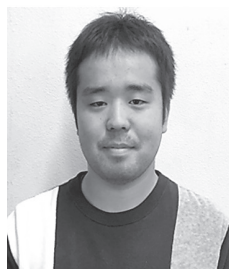
第22回 秩父臨床化学セミナー ～秋季1泊研修会～

今年で第22回目となる秩父臨床化学セミナー（臨床化学検査研究班主催）が令和元年11月9日～11月10日の2日間、秩父郡小鹿野町の宮本の湯で開催されました。

以下に参加された会員の方々の感想をご紹介します。

越谷市立病院

内藤 郁弥



今回、初めて秩父臨床化学セミナーに参加させていただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。精度管理、試薬の特徴、タイムコースの活用方法など、実際に起こった例を聞くことができとても勉強になりました。新人の私にとって大変分かりやすく、今後の業務で活かしていきたいと思います。また、検査値の見方・考え方をナイトセミナーで神山会長が細かく教えてくださいました。「検査データの裏に隠されている事柄を考えながら読まなければならない」とのお話から、単に機器から表示されたデータを信用してはならないと学びました。そして、普段あまり馴染みがない分野である法医学における検査の実際についても聞くことができました。臨床検査技師はさまざまな場所で活躍ができる職業であることを改めて知りました。懇親会では他施設の方々とお話ができ、横のつながりが持てました。他院の方々とお話をすることで、違った見方を教えていただくことができるので積極的にコミュニケーションをとらなければならないと感じました。自分自身の知識が深まり、技師として成長していきたいと思える研修会になりました。この度は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

埼玉医科大学病院

野口 彩紀子



今回、秩父臨床化学セミナーに参加し、日常の業務で忘れがちな部分や、症例の解説などから様々な知識を身につけることができました。各講義やナイトセミナーから、試薬の特性や反応原理、タイムコースなどの基礎から教えていただいたことで関連づけて理解でき、異常の原因を見つける手順を学ぶことができました。また、精度管理の基本的な用語・分類や、腫瘍マーカーの変動を改めて学ぶことができました。さらに、法医学における検査についても普段の検査との違いや貴重なお話を聞くことができました。ブラックボックス化の今日で、今回のセミナーを通して検査技師としての知識をどう活かすか、原理を理解することの大切さ、また異常が出た場合の対応の選択肢を学ぶことができました。他施設の方とも交流ができ、非常に有意義な2日間でした。ありがとうございました。

医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院

波多野 彩夏



今年で22回目となる秩父臨床化学セミナーに初めて参加させていただきました。秩父の自然豊かな環境の中、精度管理の基本や生化学分析装置の測定試薬についてなど、普段業務を行う上で活かすことのできる知識を学ぶことができました。また、法医学の領域における臨床検査など、病院の検査室では知りえない貴重な話を聞くこともできました。2日間を通して他施設の方々と交流し意見を交換することができ、自分の視野が広がったように感じます。臨床化学の知識を深めるだけでなく先輩方からたくさんのお話も聞くことができ、充実した研修になりました。また是非参加させていただきたいと思います。

令和元年度 第1回 女性技師企画研修会 開催

埼臨技理事／女性技師企画研修委員会 委員長
小島 徳子（医療法人社団愛友会 蓮田一心会病院）

令和元年11月23日土曜日、令和元年度第1回女性技師企画研修会を開催しました。

この研修会は、“女性技師が企画する研修会”という意味なので、お子さん、ご家族、男性女性の臨床検査技師のどなたでも参加可能です。

令和元年の今回は、テーマを2つ用意いたしました。1つ目は、『ハラスメントについて』～あなたの職場は大丈夫？～というテーマで、特定社会保険労務士の山口ひろみ先生に職場におけるハラスメントと指導の違い、法に規定されているハラスメントの種類、相談窓口のことなど事例をまじえてわかりやすく教えていただきました。2つ目は、『うまい蕎麦を科学する』というテーマで、全国ご当地そば伝承継承・推進協議会会長の安田武司先生（実は東武医学技術専門学校の生化学担当非常勤講師）が科学の知識を活かし、果実の構造、そば粉の成分の説明の後、水回し、練りなどのそば打ち作業、そば打ちの効能などを講演していただきました。研修中、お子さんたちは別室にて、女性技師企画研修委員会の委員とともに大変盛り上がっていました。研修会後の意見交換会は、2人の講師を囲んで、「梅蘭」で中華料理を嗜みました。仕事と子育ての両立等で、なかなか研修会に出られない臨床検査技師の方々でも何とか参加できる研修会と、顔見知りの方ができる意見交換会の開催を今後も継続していければと思います。ありがとうございました！



以下に参加された会員の方々の感想をご紹介します。

医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院
吉成 一恵

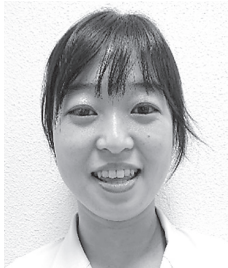


しとしとと朝から降りしきる雨の中、1年ぶりの大先輩である女性技師の方々との再会と、今回の2本立ての企画を楽しみにさいたま新都心の駅に降り立ちました。会場に足を踏み入ると、今回は子連れや男性陣が増え賑やかな雰囲気はこの会がより活性化してきているのを感じました。

ハラスメントの講演では、職場に関する法的規制のある3つのハラスメントについて、話題になった事例も交えながら大変わかりやすくお話いただきました。その次は東武医学専門学校の安田先生による「うまい蕎麦を科学する」という題のもと、日頃の授業さながら?!のそばの講義でした。アミノ酸や脂質の話から始まり、そば打ち作業の説明へと全く知らなかった世界へ安田先生の名口調にあれよあれよと誘われました。そばを食する方法まで教えていただき、今すぐにでもそばを食べたい衝動にかられました。

そしてお楽しみの意見交換会です。おいしいお料理をいただきながらパワフルな埼臨技の先輩達と気さくに熱く語り合える時間です。今回は中華料理ランチでした。昔の苦労話や、臨床検査技師の未来など、深く深く考えられる話もありましたが、家庭を持ちながらの仕事人の在り方話もあり、大いに活力をもいただきました。今回も大変有意義な時間となりました。次回も楽しみにしています。

浦和医師会メディカルセンター
水野 由貴



令和元年度第1回女性技師企画研修会に参加させていただきました。

講演は「ハラスメントについて」と「うまい蕎麦を科学する」の2つがテーマであり、それぞれ違った分野のお話で大変興味深かったです。

私自身久しぶりの研修会参加で、少し不安を抱きながらも1歳3ヶ月の息子と参加しました。講演中、何度か息子が動いてしまう場面もありましたが、別室を用意してくださっていたので、そこで遊ばせることが出来ました。

頻りに席を立てていたにもかかわらず、その都度、企画研修委員の方に優しく声をかけていただき、一緒に遊んでいただいたことで息子が楽しそうに、ニコニコしていたので私もホッとしました。

研修会に参加するまでは「息子が騒いでしまったらどうしよう…」と心配していましたが、それが嘘のように終わるころには次もまた、息子と一緒に参加させていただきたいと思うほど、皆さんに良くしていただきました。

平日夜の研修会には、なかなか参加が難しいため、休日にこのような企画をしていただけたこと、そして、今回の私のように当日、急な子連れでの参加もできるという点がとてもありがたかったです。また、このような機会がありましたら、是非参加させていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

東武医学技術専門学校
宮田 浩



去る11月23日(土)に行われた埼臨技の女性技師企画研修会に参加させていただきました。第1部では特定社会保険労務士の山口ひろみ先生による「ハラスメントについて」、第2部では蕎麦打ち名人の安田武司先生による「うまい蕎麦を科学する」と普段はほとんど勉強する機会のない分野のお話でした。さらに研修会終了後に行われた意見交換会では美味しい中華料理を食べながら大勢の参加者の方々と楽しい時間を過ごしました。

この女性技師企画研修会には2年前から今回を含めて3回続けて参加しているのですが、毎年異なるテーマを選ばれて参加者を楽しませていただけるのは、この研修会を企画されている役員の方々の運営力の凄さだと改めて認識しているところです。

私は検査技師の免許取得後、およそ四半世紀にわたり病院と専門学校で臨床検査技師と教員として主に病理、組織、細胞診検査に従事してきましたが、仕事関係で集まるメンバーはいつも同じで、特にある程度年数を重ねると新しい出会いが徐々に少なくなって来ていると感じるのは皆様同じなのではないでしょうか。今後はこのような研修会に積極的に参加して、少しでも自分の学校の学生達に得られた知識を還元できたら良いのではないかと考えております。この女性技師企画研修会は小さなお子様から我々の大先輩である技師の方々まで老若男女問わず、その時のテーマに興味のあるすべての方が気軽に参加できる会でありました。

最後にこのような素晴らしい会がこれからも末永く発展し続けることを心より願い、役員の方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

❁❁❁❁ 令和元年 秋の叙勲の栄誉に浴して ❁❁❁❁



元埼玉県臨床検査技師会会長
砂 川 進

この度、埼玉県臨床検査技師会の推薦により、令和元年秋の叙勲におきまして、はからずも瑞宝双光章の栄に浴することが出来ました。推薦を頂きました神山会長はじめ理事各位に感謝申し上げます。

さる11月5日、埼玉県知事公館にて行われた伝達式にて、大野知事より勲記・勲章を授与されました。そして、12月13日には妻と共に、厚生労働省にて厚生労働大臣から祝辞を頂戴し、引き続き皇居へ参内、豊明殿にて天皇陛下への拝謁の栄を賜りました。

拝謁では、厚生労働省関係の叙勲者と配偶者あわせて約700名が荘厳な建築物である豊明殿に一堂に会し、陛下からお言葉を賜り、改めて叙勲の重さを感じ一生に一度の経験をさせていただきました。

この度の受章は、研究班員10年、理事を15年務めた技師会活動のなかで、地域保健医療の向上に寄与したことが評価されたものと思っています。任期中は諸先輩方や仲間から多くのご指導をいただき、また、会員はもとより、越谷市立病院臨床検査科皆様のご支援ご協力のもと活動ができたこと、心より深く感謝申し上げます。

結びに、公益社団法人埼玉県臨床検査技師会の益々のご発展と会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げ、お礼の挨拶とさせていただきます。



◆◆◆◆
第63回 埼玉県公衆衛生大会 開催

当会推薦5名、公衆衛生事業功労者として埼玉県知事表彰を受賞

令和元年10月21日(月)に埼玉会館小ホールにて第63回埼玉県公衆衛生大会が開催され、埼玉知事表彰の授賞式が執り行われ、当会から、吉原靖之氏、星孝夫氏、河野哲也氏、金守彰氏、山口純也氏の5名が公衆衛生事業功労者として受賞しました。



左から金守彰氏、星孝夫氏、吉原靖之氏、神山会長、河野哲也氏、山口純也氏

授賞式は、本年9月1日に埼玉県知事に就任された大野元裕氏の挨拶の後に執り行われ、その後、来賓を代表して埼玉県議会の神尾高善議長、埼玉県医師会の金井忠男会長より祝辞が述べられ受賞者代表の謝辞の後、閉会となりました。

今回も多くの方が知事賞を受賞したことは、会として誇らしいことであり、また地道な努力・活動が認められたことは、多くの会員の励みになると思われま

受賞者の皆様、この度は誠にありがとうございました!!

(文責：小島徳子)

受賞者 喜びの一言



越谷市立病院
吉原 靖之

このたび、神山会長はじめ理事の皆様および関係者の皆様のお力添えをいただき、第63回公衆衛生大会において埼玉県知事より表彰を受けさせていただきました。今後も埼玉県公衆衛生の発展に微力ながら貢献できるよう努力して参ります。



獨協医科大学埼玉医療センター
星 孝夫

この度、第63回埼玉県公衆衛生大会において埼玉県公衆衛生事業功労者賞を受賞させていただきました。ご推薦いただきました埼玉県臨床検査技師会神山会長、副会長、理事の皆様には厚く御礼申し上げます。

今回の受賞は、血液検査研究班および埼玉県医師会精度管理事業の活動を評価していただいたものと思います。このような活動を行うことができたのは、ご指導いただいた諸先輩方、苦楽を共に活動してきた研究班の皆様と、活動に対して支援いただいた職場の皆様や家族によるものであり、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今後も皆様方のご指導、ご協力を仰ぎながら埼玉県臨床検査技師会の発展に少しでも貢献できるように日々、努力してまいります。このたびは誠にありがとうございました。

自治医科大学附属病院さいたま医療センター
河野 哲也



この度、第63回埼玉県公衆衛生大会におきまして埼玉県公衆衛生事業功労者賞を受賞させていただきました。この栄誉ある賞を受賞するにあたり、ご推薦いただきました埼玉県臨床検査技師会 神山清志会長をはじめ執行部の皆様には厚く御礼申し上げます。また、快く院外活動に対して理解していただいた職場や家族にも感謝いたします。

今回の受賞につきましては、20年間の細胞検査研究班の活動を評価していただいたものと感じております。歴代の班長ならびに研究班班員の皆様の支えあればこそ、と感謝しております。研究班活動は、職場を離れ、県内外の諸先輩方からの指導のもと、仲間との熱い議論、念入りな計画、お互いに切磋琢磨し影響し合えた経験を宝とっております。また、多くの方との出会いがあり、刺激を受けました。まさにONE TEAMとして過ごせた貴重な時間であったと感じております。

引き続き皆様方のご指導を賜りながら、埼玉県臨床検査技師会会員として技師会の発展に貢献で

きたらと考えております。残りの技師生活においても、より多くの刺激を受け、刺激を与え続けられる技師を目指して、皆様と同じ時を過ごせたらと思っております。この度は誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

埼玉県済生会川口総合病院**金守 彰**

第63回埼玉県公衆衛生大会に埼玉県公衆衛生事業功労者賞をいただきましたことを大変恐縮するとともに、深く感謝しております。また、今回の表彰にあたりご推薦いただきました埼玉県臨床検査技師会の理事をはじめとする会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

これからも、埼玉県臨床検査技師会の一員としてさらなる検査技術の向上に微力ながら尽くしていきたいと思っております。今後とも何卒よろしく願いいたします。

埼玉県済生会川口総合病院**山口 純也**

このたび、第63回埼玉県公衆衛生大会にて埼玉県公衆衛生事業功労者賞をいただきましたこと、大変光栄に思うとともに、ご推薦いただきました埼玉県臨床検査技師会をはじめ、一緒に会務を行っております理事、研究班の皆様、ご理解、ご協力をいただけた職場のスタッフ、賛助会員の皆様のおかげであると、大変感謝しております。

今後も、皆様と一緒に、臨床検査技師として出来る事を頑張っていっていききたいと思っております。これからもご指導、ご鞭撻の程、宜しく願いいたします。

ベットサイド実践講習会申し込みメールアドレスの 掲載間違いについて

先日配布された2020年2月・3月生涯教育プログラムに掲載されている3月14日～3月15日開催予定のベットサイド実践講習の申し込みメールアドレスが間違って掲載されてしまいました。

誤 acpat010@ybb.ne.jp **正** acpat010@yahoo.co.jp

正しいアドレスでの申し込みをお願いいたします。

会員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしまして申し訳ございません。

謹んでお詫び申し上げます。

各研究班の研修会報告を致します。

テーマ ～最新の遺伝子検査に関する知識を深めよう～

主催 病理検査研究班

実施日時：令和元年11月13日 19時00分～21時00分

会 場：浦和コミュニティーセンター 第13集会室 点数：専門教科－20点

講 演 1：MSI検査の実際と解釈

講 師：飯島 健太郎（株式会社エスアールエル 遺伝子DNA解析課）

講 演 2：動き始めたゲノム医療 ～NCCオンコパネルについて～

講 師：植木 典子（シスメックス株式会社 LS事業部 LS市場開発部）

参加人数：会員57名（非会員・賛助会員を含む）

出席した研究班班員：岡村卓哉 細沼佑介 高橋俊介 金泉恵美子 小島朋子 関口久男
今村尚貴 森田繁 荻真里子

研修内容・感想など

厚生労働省は9月19日付で、がんゲノム医療拠点病院として34医療機関を指定した。既ががん診療連携病院に指定されている施設と共ががんゲノム医療が推進されていくことになる。それに伴い上記以外の病院でも、病理検体が提出される可能性のある施設ではゲノム診療に呼応する確実な病理標本作製が望まれている。

今回の研修会は最新の遺伝子検査に関する知識を深めようと題して二人の講師の方に講演していただいた。MSIはmicrosatellite instabilityの略でマイクロサテライト不安定性という状態のことで、NCCオンコパネルとは販売名で一般的名称をがんゲノムプロファイリング検査用の遺伝子検査解析のことである。

講演1は、飯島氏よりMSI検査の実際と解釈で検査方法の概要と検体提出についての講演であった。MSI検査はミスマッチ修復機能を評価する検査で、FFPE検体からDNAを抽出しPCRで増幅したあと電気泳動にて波形表示されたものを判定する。核酸の品質を維持するには検体の固定条件や固定するまでの時間を3時間以内にするなどの注意が必要とのことであった。

講演2は、植木氏より動き始めたゲノム医療NCCオンコパネルと題して、国内がんゲノム医療の全体像などを含めての講演であった。日本人向けに、国立がん研究センターが開発した114遺伝子診断パネルがこのシステムで解析可能とのことであった。講演では実際の検査の成功例・失敗例をHE染色像から教示された。より具体的であり標本作製の際の手助けになると思われる。

今回のこのような講演を聴講するなどして遺伝子検査の知識を深め、より良い検査が遂行される事を期待する。

（文責：荻真里子）

**令和元年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第9回 理事会議事録**

日時：令和元年12月12日(木) 18時30分より

場所：JCHO埼玉メディカルセンター
さいたま市浦和区北浦和4-9-3

議題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席：(理事) 神山 岡田 矢作 松岡 小山
奈良 小島 神嶋 菊池 長澤
濱田 伊藤 笹野 神戸 猪浦
久保田 阿部

(監事) 遠藤 細谷

欠席：(理事) 濱本 長岡 石井 山口 鳥山

本日の理事会の出席者は19名であった。理事の出席者は17名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告(令和元年11月15日～令和元年12月12日)

11月14日(木) 令和元年度第8回理事会：

神山、松岡、小山、濱本、奈良、長岡、小島、神嶋、菊池、長澤、濱田、伊藤、笹野、石井、神戸、山口、猪浦、鳥山、阿部、遠藤、細谷

11月15日(金)～20日(水) 第2回 編集委員会
(メール会議)：鳥山、小山、神戸、久保田

11月16日(土) 日臨技共済制度委員会：神山

11月16日(土) 会計部作業：神戸

11月18日(月) 第47回埼玉県医学検査学会第14回
実行委員会：奈良、菊池

11月19日(火) 大日商事面談(新規賛助会員)：
神山

11月21日(木) 石井印刷打合せ：神山

11月22日(金) 日臨技支部長会議：神山

11月23日(土) 日臨技理事会：神山

11月23日(土) 令和元年度第1回女性技師企画研
修会：小島、神嶋、石井、伊藤、濱田

11月27日(水) 青年部会議：神嶋、神戸

11月28日(木) 埼臨技だより第487号編集会議
(メール会議)：奈良、長岡、小島、神嶋、菊池

11月30日(土) 第47回埼玉県医学検査学会前日準
備：神山、奈良、菊池

12月1日(日) 第47回埼玉県医学検査学会：
神山、岡田、矢作、松岡、小山、濱本、奈良、長岡、小島、神嶋、菊池、長澤、濱田、伊藤、笹野、石井、神戸、山口、猪浦、鳥山、阿部、久保田、遠藤

12月3日(火) 令和元年度第3回表彰審査選考委
員会(メール会議)：
神山、岡田、矢作、松岡、小山、

濱本

12月6日(金) 第48回埼玉県医学検査学会 第2
回実行委員会：

菊池、石井、伊藤

12月7日(土) 日臨技認定臨床化学・免疫化学精
度保証管理技師試験：神山

12月7日(土) 日臨技認定臨床化学・免疫化学精
度保証管理技師試験WG委員会：
神山

12月9日(月) 予算委員会：神山、矢作、松岡、
小山、濱本、奈良、長澤、石井、
神戸、山口、猪浦、阿部

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1) 埼玉県看護協会より新年懇話会の案内が届いた。矢作副会長を派遣することとした。

2) 日臨技より令和2年度都道府県技師会との関連事業について資料が届いた。

3) 日臨技より令和元年度職能拡大推進事業研修会開催について案内が届いた。

4) 令和2年度定時会員総会は令和2年6月12日(金)、大宮ソニックシティ市民ホール401、402にて開催と決定した。

5) 日本衛生検査所協会より令和2年度賀詞交歓会の案内が届いた。

6) 12月1日(日) 第47回埼玉県医学検査学会にて埼玉医科大学総合医療センター病理部の戸田成美技師に埼臨技特別賞を授与した

7) 黒住医学研究振興財団より第55回「小島三郎記念技術賞」と第39回「福見秀雄賞」の推薦依頼が届いた。

8) 12月3日(火) 令和元年度第3回表彰審査選考委員会(メール会議)を開催した。

9) 埼玉乳がんケア・サポートグループより第19回乳がん市民フォーラムin春日部の後援依頼を受け、受諾した。

開催期日：令和2年5月17日(日)

会場：春日部市民文化会館
大ホール

2 総務部

1) 11月23日(土) 令和元年度第1回女性技師企画研修会を開催した。

2) 11月27日(水) 青年部会議を開催した。11月12日(火) 未報告分と合わせて報告する。

3) 11月28日(木) 埼臨技だより 第487号編集会議(メール会議)を行った。

4) 「埼臨技だより」第487号、12月15日発行予定

3 事業部

1) 11月9日(土) 令和元年度 全国「検査と健康展」埼玉会場、未報告の事業報告書を追加報告する。

4 学術部

1) 生涯教育プログラム令和2年2月・3月分をだより12号に同封予定。

2) 11月15日(金)～11月20日(水) 第2回編集委員会(メール会議)を行った。

5 精度保証部

特になし

6 会計部

1) 令和元年度正会員費6名30,000円、入会金

- 6名分6,000円 合計36,000円の入金があった。
- 2) 日臨技より生涯教育推進研修会助成金50,000円の入金があった。
- 3) 株式会社石井印刷に埼臨技だより第486号印刷代97,614円を支払った。
- 7 精度管理委員会
特になし
- 8 一都八県会長会議
1) 1月18日(土)～19日(日)山梨県笛吹市にて第7回山梨臨床検査フォーラムが「災害医療について～災害時活躍できる医療スタッフを目指して～」をテーマに開催される。
- 9 日臨技関甲信支部
1) 11月22日(金)日臨技支部長会議が開催された。
- 10 日臨技
1) 11月23日(土)日臨技理事会が開催された。議事録は日臨技HPを参照。
- 11 第47回埼玉県医学検査学会
1) 11月18日(月)第47回埼玉県医学検査学会第14回実行委員会を開催した。議事録未報告の第13回実行委員会議事録も合わせて報告する。
2) 12月1日(日)大宮ソニックシティに於いて第47回埼玉県医学検査学会を1,264名の参加者の下、開催した。
- 12 第48回埼玉県医学検査学会
1) 11月1日(金)第48回埼玉県医学検査学会第1回実行委員会議事録未報告の議事録を追加報告する。
- Ⅲ. 承認事項
1 事務局
1) 会員動向(令和元年度分)
令和元年12月1日現在
会員数 3,180名[平成30年度会員数3,027名]
(新入会員 292名)
賛助会員 81社[平成30年度 82社]
承認された。
2) 令和2年度福見秀雄賞の候補者について
令和元年度第3回表彰審査選考委員会の報告のとおり、会員1名を候補者として推

- 薦したい。
承認された。
- 2 総務部
特になし
- 3 事業部
1) 令和2年賀詞交歓会の要綱について
承認された。
- 4 学術部
特になし
- 5 精度保証部
特になし
- 6 会計部
1) 事務員の賞与について
承認された。
- 7 精度管理委員会
特になし
- 8 第47回埼玉県医学検査学会
特になし
- 9 第48回埼玉県医学検査学会
1) 学会の開催日・会場について
令和2年12月6日(日)、大宮ソニックシティでの開催が承認された。
2) 学会ロゴマークについて
承認された
- Ⅳ. 議題
1 部門別検査研究班運営規程細則の改訂について
松岡副会長より部門別検査研究班運営規程細則の改訂について発言があった。これを受けて理事会審議の結果、原案どおり出席理事全会一致で承認し、改訂することとした。
2 埼玉県医学検査学会運営規程細則の改訂について
松岡副会長より埼玉県医学検査学会運営規程細則の改訂について発言があった。これを受けて理事会審議の結果、原案どおり出席理事全会一致で承認し、改訂することとした。
- 以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

あ と が き

新しい年を迎え、一気に世の中が華やかな雰囲気となりました。仕事始めの日に、年末年始の勤務に入ったスタッフに感謝するとともに、今年も病院挙げて早朝の地元神社での初詣を済ませ、これから始まる一年に思いをはせながら無事に過ごせることを願うばかりです。

さて、空気が澄んでいる1月は、富士山が1年の中でも特にすっきりとしたシルエットで、その姿を見ると美しさと雄大さで心を奪われます。職場の高層階で富士山がよく見えるお気に入りのスポットがあるのですが、仕事で疲れた心をいつも癒してくれます。年初めに見た富士山がとてもキレイでした。さあ今年も頑張ろうっと！

皆様にとって充実したよい年となりますように。今年もどうぞよろしくお願い致します。

(菊池 記)

